



# NOBIS HOTEL STOCKHOLM

ノビス ホテル スtockホルム「Nobis Hotel Stockholm」のゴージャスな外観の建物は元銀行で威風堂々とした佇まいだ。19世紀に建てられた石造りの建物をスウェーデンの著名建築家ユニットであるクレソン・コイヴィスト・ルネ「CKR」がデザインし、エキセントリックでモダンなホテルに変身させた



この建物の歴史の変遷は面白い。もともとは集合住宅だったが、その後は銀行になり、さらに上流階級向けのアパートマンに改修された。マリメッコやアクネといったスウェーデンの有名ファッションブランドも出店し、その話題性がノビス ホテルが生まれるきっかけとなった



ノビス ホテル スtockホルム「Nobis Hotel Stockholm」のレセプションホール



館内に入ると 28 m の高い天井を持つ教会のような吹き抜けのロビーラウンジに圧倒される



巨大なアトリウムの下部はスタイリッシュなラウンジになっており、「ストックホルムのリビングルーム」と異名を取るほどの人気だ



19世紀のお洒落な建物2棟を利用したクラシカルな佇まいは館内にも見られ、優雅なラセン階段は見所の一つである



筆者 小原 康裕  
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学専攻  
投資顧問会社 Haraken & Co., Ltd. CEO  
JHRCA 日本ホテルレストランコンサルタント協会  
専務理事  
JARC 宿泊施設関連連合会  
アドバイザー・ボードメンバー  
SKAL International Tokyo,  
Professionnels du Tourisme 会員

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42  
www.hoteresonline.com  
https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16

New Site (随時更新中)  
www.wlhj.jp

## Nobis Hotel Stockholm

ノビス ホテル スtockホルム「Nobis Hotel Stockholm」は旅慣れたジェットセッターの御用達として評価されているリクスなデザイナーズホテルである。ゴージャスな外観の建物は元銀行で威風堂々とした佇まいだ。19世紀に建てられた石造りの建物をスウェーデンの著名建築家ユニットであるクレソン・コイヴィスト・ルネ「CKR」がデザインし、エキセントリックでモダンなホテルに変身させた。高さ28mの巨大なアトリウムのロビーラウンジや自然素材の北欧家具などは現代人の生活に対応しており機能性も申し分ない。ホテルの正

式名称は「Nobis Hotel Stockholm, Member of Design Hotels」で、このホテルの特徴はやはりその建物そのものだ。ノルマルム広場にある19世紀のお洒落な建物2棟を利用したクラシカルな佇まいとCKRの現代的な北欧の繊細さが美しい対比を見せている。

この建物の歴史の変遷は面白い。もともとは集合住宅だったが、その後は銀行になり、さらに上流階級向けのアパートマンに改修された。マリメッコやアクネといったスウェーデンの有名ファッションブランドも出店し、その話題性がノビス ホテルが生まれるきっかけとなった。インテリアは色調と照明が相乗効果を上げ、色彩は「Scandinavian dark blonde」と呼ばれる髪の色を基準にした控え





メインダイニング「NOI」は地元デザイナーのヴァンゴード氏が手掛けたレストランで、エレガントな雰囲気を持つ



メインダイニング「NOI」のゴージャスなテーブルセッティング。ヨーロッパ各地から影響を受けたモダンな料理を提供している



「Bistro Nobis」は略して「Bino」と呼ばれ、屋外のテラス席を含め気軽に北欧料理を楽しむ



バーラウンジ「The Gold Bar & the lounge」は全面にゴールドミラーが装飾され、地元のセレブ達で賑わっている



ホテルのモダンなデザインにはストックホルムの歴史が反映され、銀行だったときの会議室のダーク感と漆喰の豪華な装飾などが垣間見える



会議室に隣接した品格あるラウンジ。アヒルの置物を配置するなどユーモア感も忘れない

めなものだ。照明は、スウェーデンの冬の低い太陽からインスピレーションを得ている。ホテルのモダンなデザインにはストックホルムの歴史が反映され、銀行だったときの会議室のダーク感と漆喰の豪華な装飾など、ホテルのもともとのインテリアの多くはスウェーデン国家遺産委員会によって保護されている。

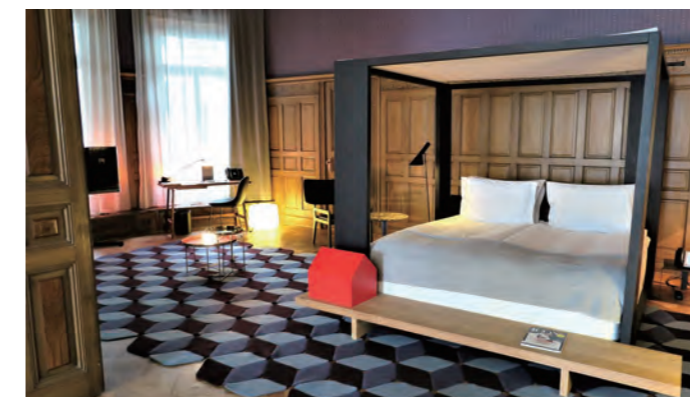
ノビス ホテルはスイートを含め全 201 室を擁し 2010 年にオープンした。館内に入ると教会のような高い天井の吹き抜けのロビーラウンジに圧倒される。今回はホテルのトップスイートである「The Nobis Suite」をご紹介したい。約 100㎡の広さを持ち、スタイリッシュな天蓋付きのキングベッドは印象的だ。リビングも余裕の広さで、テ-

ブルセットが置かれた出窓からノルマルム広場を見渡せる。メインダイニング「NOI」は地元ヴァンゴード氏が手掛けたレストランで、エレガントな雰囲気の中、ヨーロッパ各地から影響を受けたモダンな料理を提供している。バーラウンジ「The Gold Bar & the lounge」は全面にゴールドミラーが装飾され、地元のセレブ達で賑わっている。

ストックホルムはノーベル賞授賞式の地。受賞者の公式宿泊ホテルはグランドホテル（本誌 Vol. 84 「Grand Hotel Stockholm」参照）だが、これを「官」とすればノビス ホテルは「民」。北欧のゴージャスなブティックホテルに滞在し、ストックホルムの美しい街並みを逍遥するのも一興であろう。



ホテルのトップスイートである「The Nobis Suite」のベッドルーム。約 100㎡の広さを持ちスタイリッシュな天蓋付きのキングベッドは非常に印象的だ。ノビス ホテルはスイートを含め全 201 室を擁し 2010 年にオープンしている



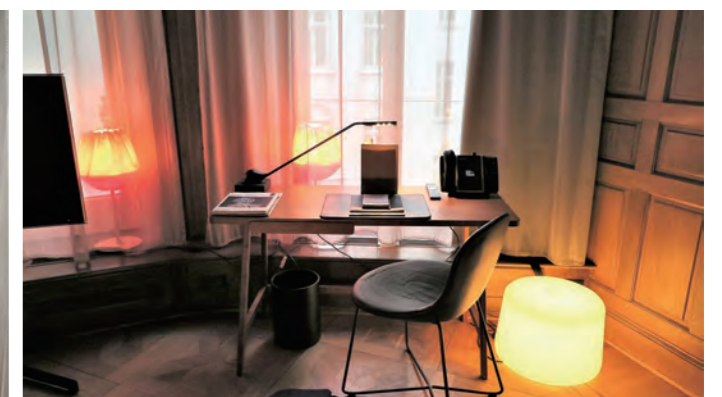
重厚なウツの壁面と斬新なカーペットを敷いた空間はクラシカルな佇まいとCKRの現代的な北欧の繊細さが美しい対比を見せている



リビングルームも余裕の広さを確保している



テーブルセットが置かれた出窓からノルマルム広場を見渡せる



ライティングデスクはシンプル＆モダン。まさに北欧家具の真骨頂である